



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月12日

上場会社名 株式会社アイスコ 上場取引所 東
 コード番号 7698 URL <https://www.iceco.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 相原 貴久
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 永野 泰敬（TEL）045(811)1302
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第3四半期の業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	42,415	9.0	542	3.6	589	3.9	383	4.7
2024年3月期第3四半期	38,912	12.6	524	232.9	567	186.8	366	133.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	98.44	95.35
2024年3月期第3四半期	94.78	92.91

当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	17,854	3,742	21.0
2024年3月期	16,756	3,431	20.5

（参考）自己資本 2025年3月期第3四半期 3,741百万円 2024年3月期 3,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2025年3月期	—	19.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	9.5	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は2024年5月13日開催の取締役会において、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割することを決議しました。2025年3月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2025年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は19円00銭となります。

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	6.9	500	10.5	550	10.5	355	11.3	91.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式分割の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	3,905,600株	2024年3月期	3,890,300株
2025年3月期3Q	96株	2024年3月期	—株
2025年3月期3Q	3,900,105株	2024年3月期3Q	3,868,733株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無

法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想の将来に関する記述は、業績に与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因等で大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 当社は2024年5月13日開催の取締役会において、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割をすることを決議しております。なお、株式分割考慮前に換算した2025年3月期の業績予想及び配当予想は以下の通りとなります。

・2025年3月期の業績予想 1株当たり当期純利益 通期 182円51銭

・2025年3月期の配当予想 1株当たり配当金 通期 38円00銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善するなど、景気は緩やかな回復傾向が続いておりますが、海外の景気不振や、記録的な円安進行に起因する資源・原材料価格高騰に伴う物価上昇等により、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

当社が身を置く食品流通業及びスーパーマーケット業につきましては、円安の進行や原材料価格の高騰に伴う食品の値上げにより、節約志向がより一層進行することで、消費マインドが冷え込む厳しい経営環境となっております。

このような情勢のなか、当社は当事業年度よりスタートした第二次中期経営計画において「環境変化への徹底対応」を基本方針とし、3つの重点テーマである「人的資本経営の実践」、「収益力の改革加速」及び「新規事業の育成」を進めております。その一環である物流網構築の強化策として、埼玉県に関東マザーセンター(仮称)を建設することを決定しました。関東マザーセンター(仮称)には、当社初となる冷凍の立体自動倉庫の導入を予定しており、サテライト拠点の展開をさらに推し進めることが可能となります。また、2024年7月には横浜市金沢区に横浜営業所の着工を開始し、2025年4月の稼働を目指しております。新規事業の冷凍食品専門店「FROZEN JOE'S」は、2024年7月に横浜市泉区の「ゆめが丘ソラトス」内に3号店を出店し、事業拡大に向けて取り組んでおります。

加えて資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応として、株主優待制度を新設いたしました。引き続き企業価値の向上に取り組んでまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間は昨年の猛暑の反動があった一方で、主要得意先との取引が堅調に推移したことにより、売上高42,415百万円(前年同期比9.0%増)、営業利益542百万円(前年同期比3.6%増)、経常利益589百万円(前年同期比3.9%増)、四半期純利益383百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

各セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

a. フローズン事業

フローズン事業につきましては、売上高は、主要得意先であるドラッグストアの新規出店等により堅調に推移いたしました。利益面につきましては、人的資本経営の実践のため人事制度の改定や、採用を強化した結果、人件費や採用費が増加したことにより、前年同期を下回りました。

以上の結果、フローズン事業の売上高は37,097百万円(前年同期比8.9%増)、セグメント利益は474百万円(前年同期比19.7%減)となりました。

b. スーパーマーケット事業

スーパーマーケット事業につきましては、売上高は、前事業年度にスーパー生鮮館TAIGA藤が丘店を出店したことにより増加しております。引き続きセグメント利益の回復に向け、管理コストの削減や、販売促進費の見直し等、抜本的な改革に取り組んでおります。

以上の結果、スーパーマーケット事業の売上高は5,318百万円(前年同期比9.5%増)、セグメント利益は68百万円(前年同期はセグメント損失67百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて、1,098百万円増加し、17,854百万円となりました。これは主に、フローゼン事業の売上の増加に伴い受取手形及び売掛金が591百万円、商品が495百万円、建設仮勘定が410百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて、787百万円増加し、14,112百万円となりました。これは主に、フローゼン事業の仕入の増加に伴い支払手形及び買掛金が1,141百万円、長期借入金が427百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて、311百万円増加し、3,742百万円となりました。これは主に、利益剰余金が295百万円増加したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績は、計画どおりに推移しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,435,765	1,738,679
受取手形及び売掛金	5,199,081	5,790,982
商品	704,454	1,200,007
未収入金	1,403,981	1,660,867
その他	23,386	15,372
貸倒引当金	△543	△598
流動資産合計	9,766,124	10,405,310
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,027,190	1,953,567
機械及び装置(純額)	138,847	122,130
車両運搬具(純額)	66,709	222,712
工具、器具及び備品(純額)	180,533	157,746
土地	3,217,359	3,241,859
建設仮勘定	—	410,706
その他(純額)	63,535	60,966
有形固定資産合計	5,694,176	6,169,689
無形固定資産		
ソフトウェア	18,524	14,922
その他	7,113	7,079
無形固定資産合計	25,638	22,001
投資その他の資産		
投資有価証券	32,495	19,793
繰延税金資産	542,970	547,084
保険積立金	14,965	15,619
差入保証金	669,264	667,678
その他	11,078	7,752
投資その他の資産合計	1,270,774	1,257,929
固定資産合計	6,990,588	7,449,620
資産合計	16,756,713	17,854,931

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,943,386	9,085,169
短期借入金	700,000	—
1年内返済予定の長期借入金	374,282	404,676
未払金	408,082	417,725
未払費用	604,561	634,202
未払法人税等	209,787	118,308
未払消費税等	70,450	30,930
賞与引当金	146,846	39,742
その他	90,766	117,546
流動負債合計	10,548,163	10,848,301
固定負債		
長期借入金	1,748,914	2,176,451
長期未払金	155,100	155,100
退職給付引当金	714,105	771,823
資産除去債務	120,614	122,295
その他	38,666	38,735
固定負債合計	2,777,400	3,264,405
負債合計	13,325,564	14,112,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	372,065	377,591
資本剰余金	297,065	302,591
利益剰余金	2,751,350	3,061,214
自己株式	—	△117
株主資本合計	3,420,481	3,741,280
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,489	△166
評価・換算差額等合計	9,489	△166
新株予約権	1,178	1,110
純資産合計	3,431,149	3,742,223
負債純資産合計	16,756,713	17,854,931

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	38,912,767	42,415,077
売上原価	32,278,335	35,075,864
売上総利益	6,634,432	7,339,213
販売費及び一般管理費	6,110,299	6,796,275
営業利益	524,133	542,937
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,234	5,010
有価証券売却益	—	9,316
不動産賃貸料	38,717	38,547
雑収入	19,436	22,139
その他	1,523	487
営業外収益合計	64,912	75,501
営業外費用		
支払利息	10,730	16,296
不動産賃貸費用	10,603	10,941
その他	276	1,504
営業外費用合計	21,610	28,742
経常利益	567,434	589,696
税引前四半期純利益	567,434	589,696
法人税等	200,767	205,775
四半期純利益	366,667	383,921

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項ありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	フローゼン事業	スーパー マーケット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,054,615	4,858,152	38,912,767	—	38,912,767
セグメント間の内部 売上高又は振替高	187,900	—	187,990	△187,990	—
計	34,242,605	4,858,152	39,100,758	△187,990	38,912,767
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	591,496	△67,363	524,133	—	524,133

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△187,990千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	フローゼン事業	スーパー マーケット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,097,009	5,318,068	42,415,077	—	42,415,077
セグメント間の内部 売上高又は振替高	224,557	—	224,557	△224,557	—
計	37,321,566	5,318,068	42,639,635	△224,557	42,415,077
セグメント利益(注) 2	474,879	68,058	542,937	—	542,937

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△224,557千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	232,530千円	273,177千円